

ETG

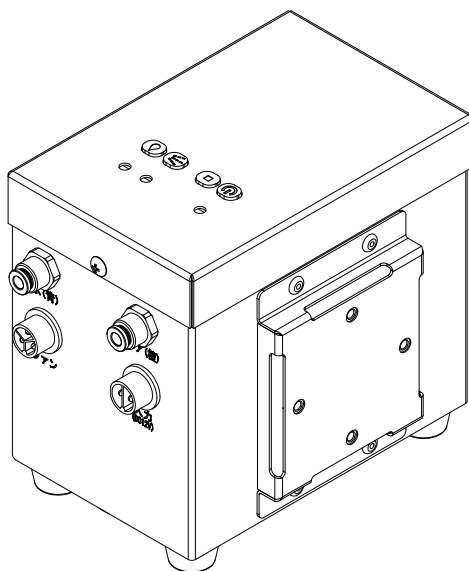
エヴァポ・クーラー

EC-V-04S 型（車載用）

取扱説明書

EcoTiger

夏を乗り切る強い味方



このたびは、エヴァポ・クーラーをご購入いただきありがとうございます。
お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

目 次

| | |
|---------------|----|
| 1. 仕様 | 1 |
| 2. 安全上のご注意 | 2 |
| 3. 本体と付属品 | 5 |
| 4. 利用準備 | 6 |
| 5. 使い方 | 12 |
| 6. 保守・点検 | 13 |
| 7. お手入れ・収納 | 16 |
| 8. 故障かな?と思ったら | 18 |
| 9. 保証書 | 20 |

1. 仕様

| | |
|-------------|----------------------------------|
| 型式 | EC-V-04S |
| 水タンク | 市販飲料用のペットボトル（2 L相当）利用可能 |
| ノズル付きファン | 1台（ノズル1個組込） |
| ノズルタイプ | 2流体方式 |
| ミスト量の調整 | 付帯する調整バルブによる |
| ミスト噴霧量 | 0~2.0 L/h（バルブ調整による。最適：0.5 L/h付近） |
| 水吐出圧力 | 0.15~0.20Mpa |
| ファンスピード | 強 中 弱（3段階調整） |
| 定格入力電圧 | DC12V |
| 作動保証電圧 | DC10.5V~14V |
| 消費電力 | 風速強：38W 風速弱：26W（DC12V） |
| 本体寸法（L×W×H） | 200x140x165 mm |
| 本体乾燥重量 | 2.5 kg（ファン除く） |
| 使用・保管温度範囲 | 5~50℃ |
| 使用・保管湿度範囲 | 30~85% |

2. 安全上のご注意

火災、感電、怪我などの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。

- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みいただき、指示に従って正しくご使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害および物的損害を負う可能性が想定される場合。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

当社は、あらゆる環境下における運転・点検・整備のすべての危険を予測することはできません。したがって、本書や当製品に明記されている警告は、安全のすべてを網羅したものではありません。本書に書かれていない運転・点検・整備を行った場合、安全に対する配慮が必要です。お買い上げの販売店とよくご相談ください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

火災、感電、怪我を防ぐために下記を必ずお守りください。

1. 取扱説明書の記載事項に従いご使用ください。記載事項に従わず使用した場合、火災の原因や人または動物への感電や怪我を負う危険性があります。
2. 動力源が本製品の容量又は電圧に適合することを確認してください。
3. 雨天時や雷鳴時は屋外での作業には使用しないでください。
4. 本製品を使用中、異常を感じたら直ちに使用を中止してください。
5. 本製品のすべての部品は、当社純正部品を使用してください。
6. 怪我の原因になりますので、子供の手が届かない安全な所でご使用ください。
7. 本製品の分解・改造を行わないでください。
8. 本製品を動かす、組み立てる、またはお手入れをされる際はバッテリーに繋がっていない状態にしてください。

警告

9. 本製品を有害物が近くにある場所では使用または保管しないでください。
10. 本製品を完全に組み立てるまではバッテリーにつなげないでください。
11. 本製品が正常に作動しない、部品が足りない、故障している、または水につけてしまった場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
12. 感電や怪我をすることがありますので、お手入れの際は、バッテリーに繋がっていない状態にしてください。また、濡れた手で作業はしないでください。
13. 製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電・発火の恐れがあります。
14. 電源コードを温度の高い表面に接触しないよう、注意してください。
15. バッテリーに繋いでいる状態で、製品を放置しないでください。長期間使用しない場合はバッテリーから電源コードを外してください。
16. 不意な誤操作を防ぐため、リモコンの電池を交換する際は、本体に接続しています外部電源接続ケーブルを必ず外してください。
17. 本製品が損傷している時は使用しないでください。電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを載せたりしないでください。
18. 配線の絶縁不良、劣化等が無いかを定期的に確認してください。又、配線の結束、絶縁は確実に行ってください。
19. 障害物の近くや、不安定な場所では使わないでください。転倒により、怪我をする恐れがあります。
20. 製品が大量の水の中に落ちる可能性がある場所（例えばプールやバスタブ）や導電性の物質がある場所の近くには絶対に置かないでください。
21. ファンの中や可動部へ指などを入れしないでください。
22. 製品及び配線等は、運転の視界や運転の妨げになる場所には設置しないでください。
ファンの取り付け位置・角度によっては、本体、本体からの送風、ミストにより、オペレーターの視認性に影響を与える可能性があるため、作業環境等に応じて、視認性に影響を与えない位置・角度でファンを取り付けてください。
23. 髪、スカーフ、リボン等をファンに近づけないでください。
24. 運転の開始直前にノズル孔を覗き込まないように、また運転中は、目詰りの疑いがあってもノズル孔正面に眼を近づけないでください
25. 本体に異常な振動が発生した場合は運転を中止してください。

警告

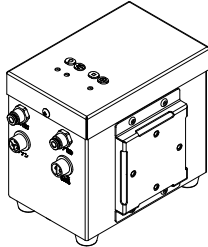
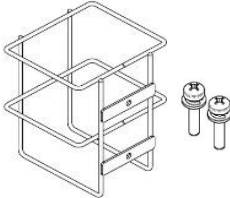
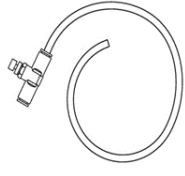
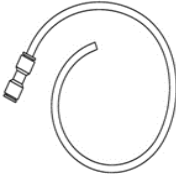
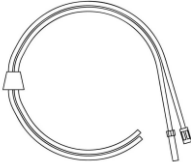
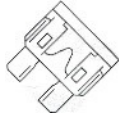
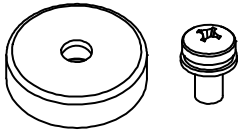
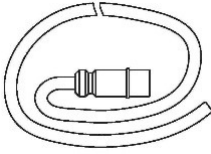
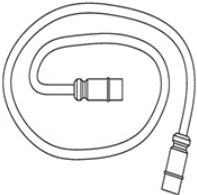
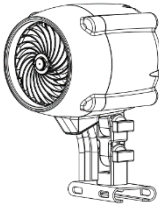

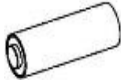
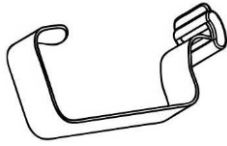

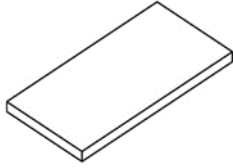
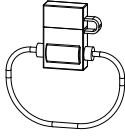
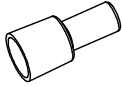
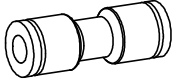
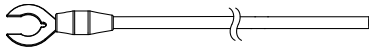
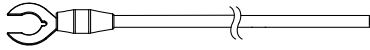
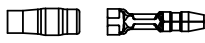
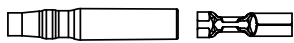


26. ファンを取り付けた場合、オペレーターは視認性に十分に注意し、視認性に影響がある場合には、すぐに作業を取りやめ、ファンの取り付け位置を変更する、もしくは管理者にファンの取り付け位置の変更を要求してください。
27. 次のような場所及び環境の下で利用及び設置して運転しないでください。
 - i) 可燃性ガスの発生、滞留及び漏れのおそれのある場所。
 - ii) 油煙、酸性及びアルカリ性ガスの発生の恐れのある場所。
 - iii) 多量の粉塵が舞っている場所。
28. 本製品は必ずDC12Vで使用してください。指定の電圧以外で使用すると電気部品の損傷につながります。

注意

1. 本製品は、二流体方式のノズルを採用しており、微細な孔による機能を維持するため、取り込むエアと水に汚れや異物が混入しないよう努めてください。
2. エアークリーナエレメント及び水フィルターが健全に揃ってない状態では本製品を使わないでください。
3. 本製品に取り込む水は、蛇口から直接得られた水道水または市販の水に限ります。
4. その他の液体を使用する場合又は他の用途で使用される場合、お買い上げの販売店にまでご相談ください。
5. 水の吸水がない状態のカラ運転は行わないでください。故障の原因になります。
6. 本製品を水貯まりのような場所及びゴミや塵埃が貯まるような場所に配置しないでください。本体ボックスの底にエア吸入口があります。
7. 本体側面下部の排気口の直前約10cm内に物を置かないでください。誤作動の原因になります。
8. エア・水の吸気口や排気口に異物を入れたり、入るような状態にしないでください。本製品の故障の原因になります。
9. 本製品のノズルをふさいだり、詰まらせたりしないでください。ミスト機能の低下の原因になります。修理が必要な時は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

3. 本体と付属品

本体及び付属品の構成は、下記表の組み合わせによります。

| 本体と付属品 | |
|---|---|
|  <p>本体 1 台</p> |  <p>ボトルケース 1 個 なべ小ネジ 2 個</p> |
|  <p>ミスト量調節バルブ付 水チューブセット (青) 長さ約 3m 1 個</p> |  <p>エアチューブセット (橙) 長さ約 3m 1 個</p> |
|  <p>吸水チューブセット 長さ約 1.2m 1 個</p> |  <p>ヒューズ (予備) 1 個</p> |
|  <p>本体取付用磁石 4 個 なべ小ネジ 4 個</p> |  <p>外部電源接続ケーブル 長さ約 3m 1 本</p> |
|  <p>ファン電源ケーブル 長さ約 3m 1 本</p> |  <p>ノズル付きファン 1 個 (緩衝スポンジ付)</p> |
|  <p>リモコン 1 個 (乾電池付: 特殊 12V/23A)</p> |  <p>12V/23A 電池 (予備) 1 個</p> |
|  <p>本体ケース固定ベルト 1 個</p> |  <p>結束バンド 長さ 500mm 10 本</p> |
|  <p>本体取付用緩衝スポンジ 2 枚</p> |  <p>ヒューズ 1 個</p> |
|  <p>閉端接続子 4 個</p> |  <p>継ぎ手 2 個 (予備)</p> |
|  <p>電源線組 (+) 赤色 長さ約 300mm 1 本</p> | |
|  <p>電源線組 (-) 黒色又は青色 長さ約 300mm 1 本</p> | |
|  <p>ギボシ端子オス 絶縁スリーブ付き 1 個</p> |  <p>ギボシ端子メス 絶縁スリーブ付き 1 個</p> |
|  <p>取扱説明書 1 冊</p> |  <p>据付説明書 1 冊</p> |

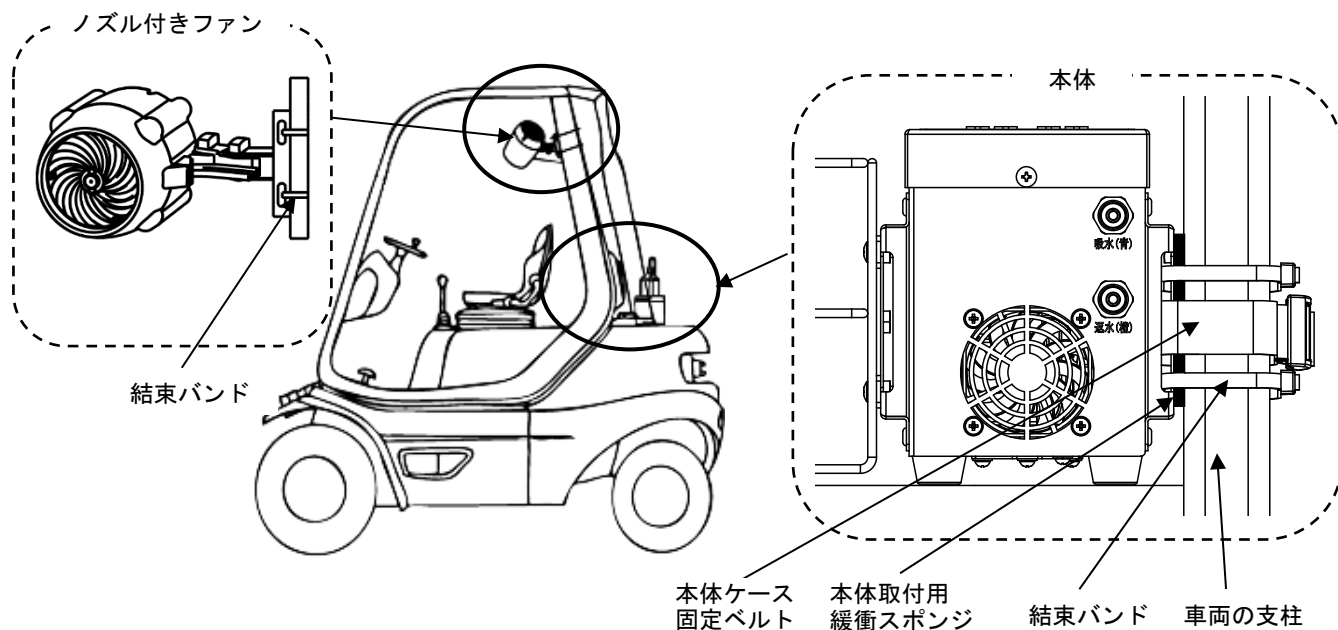
4. 利用準備

ノズル付ファン及び本体の取付けは、車両運転席の状況に応じて行ってください。

(1) ノズル付ファン(取付け金具部緩衝スポンジ付)の取付け

車両の運転席周辺の支柱又は天井梁などの適当な場所に取り付けてください。

取り付けに付属の結束バンド又は相当品等をご利用ください。

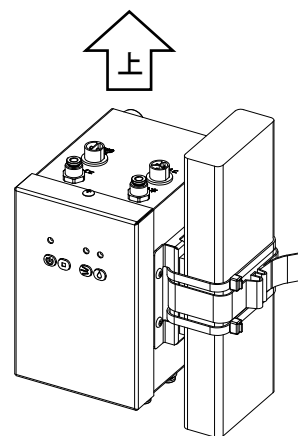


(2) 本体の取付け

運転席の周辺支柱又は適当な場所に本体を配置してください。

配置及び取付けについて、本体ケースの取付金具を使用し、付属の本体取り付け用緩衝スポンジをフォークリフトとの間に挟み込んで、付属の結束バンドで縛り、付属の本体ケース固定ベルトでしっかり固定します。

本体を縦置きに配置する場合は吸水パイプを下側に、電源線、ファンへの配管等が上になる様に配置してください。

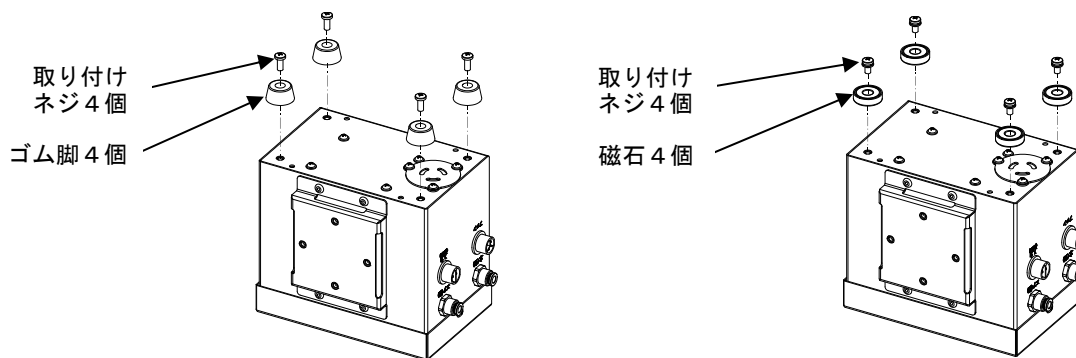


⚠ 注意

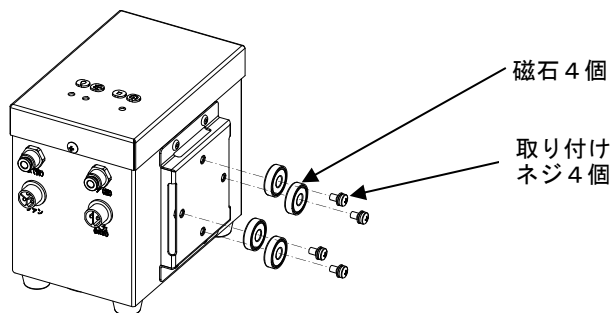
1. ノズル付きファン及び本体を取り付ける時緩衝スポンジを外さないでください。
2. 結束バンドは定期的に劣化がないか確認し、劣化が有る場合は交換してください。

(3) 磁石の取り付け

付属の磁石を本体底に取り付ける場合は現在取りついているゴム脚を外し、代わりに磁石を付属の取り付けネジを使用して取り付けます。



本体側面に取り付ける場合は付属のネジを使用して4個取り付けます。



⚠ 注意

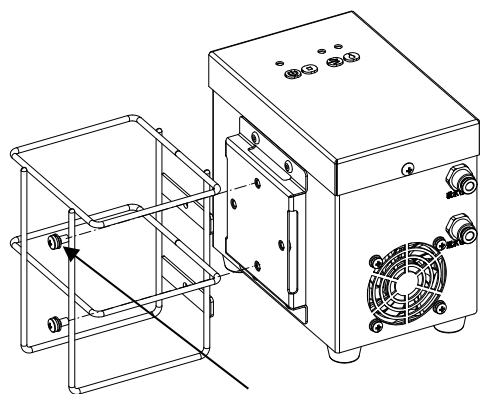
磁石を使用して直接フォークリフトの柱に固定しないでください。フォークリフトの振動により本体が壊れる恐れがあります。磁石を使用する場合は振動の少ない場所（足元等のすき間）で鉄板に吸着できる場所に設置ください。

(4) ボトルケース取り付け

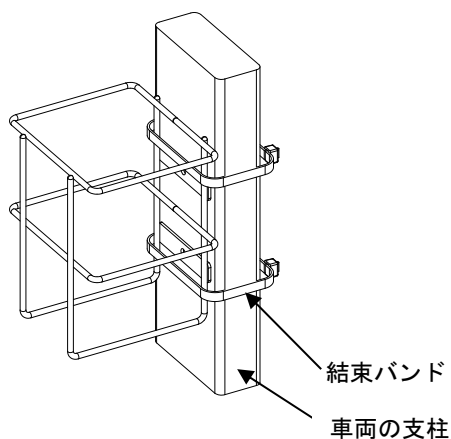
本体をフォークリフトへ取り付けする時、配置場所に合わせてボトルケースの位置を左右どちらかに取り付ける事が出来ます。

本体にボトルケースを取り付ける場合は付属のネジを使用して取り付けます。

又ボトルケースを別にフォークリフトの柱に固定する場合は付属の結束バンドで縛り固定します。



M5なべ小ネジ2個



結束バンド
車両の支柱

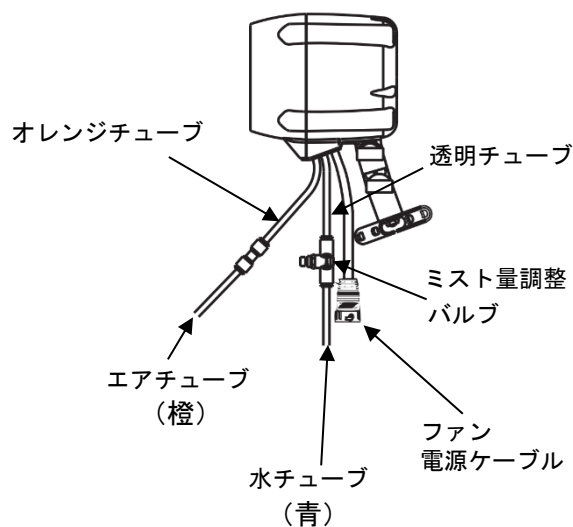
(5) チューブ及びファン電源ケーブルの連結

1) ノズル付きファン側との連結

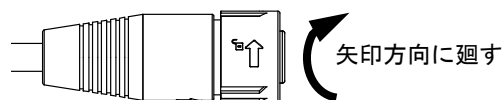
ノズル付きファンについて、オレンジチューブ及び透明チューブ各1本、合計2本のチューブ各々を継ぎ手に押し込んで連結してください。

具体的には、オレンジチューブはエアチューブセット（橙）に付いている継ぎ手に、透明チューブは水チューブセット（青）に付いているミスト量調整バルブに連結してください。

ファン電源ケーブルについて、相手継ぎ手とのはめ合いを確認し、そのまま“クリッ”と音がするまで押し込んでください。外す場合は、青色のリングを左（矢印の方向）に廻し、ケーブルを抜いてください。



ファン電源接続ケーブルの
取り外し方



矢印方向に廻す

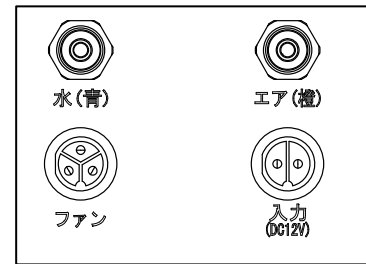
※ 継ぎ手の連結については9頁の「チューブを連結・分離する場合の注意」をお読みください。

2) 本体側との連結

水チューブセット（青）、エアチューブセット（橙）及びファン電源ケーブルの計3本を本体側の継ぎ手に連結してください。

（水チューブ、エアチューブは、適当な長さで切断し、ご使用ください。出来るだけ直角に切断し、バリ等は除去してください。）

本体側継ぎ手



(6) 吸水チューブセットの取付

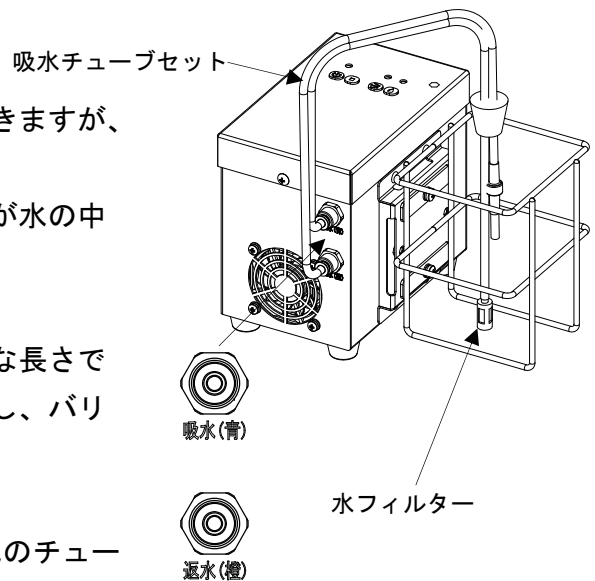
吸水タンクに市販飲料水のペットボトルが利用できますが、異物等の混入が無いよう努めてください。

ペットボトル内に水が入っており、水フィルターが水の中に沈められているのを確認してください。

青色及びオレンジ色の合計2本のチューブを適当な長さで切断し、ご使用ください。できるだけ直角に切断し、バリ等は除去してください。

切断後、本体側の継ぎ手に連結してください。

青色のチューブは“吸水” 継ぎ手に、オレンジ色のチューブは“返水” 継ぎ手に対応します。



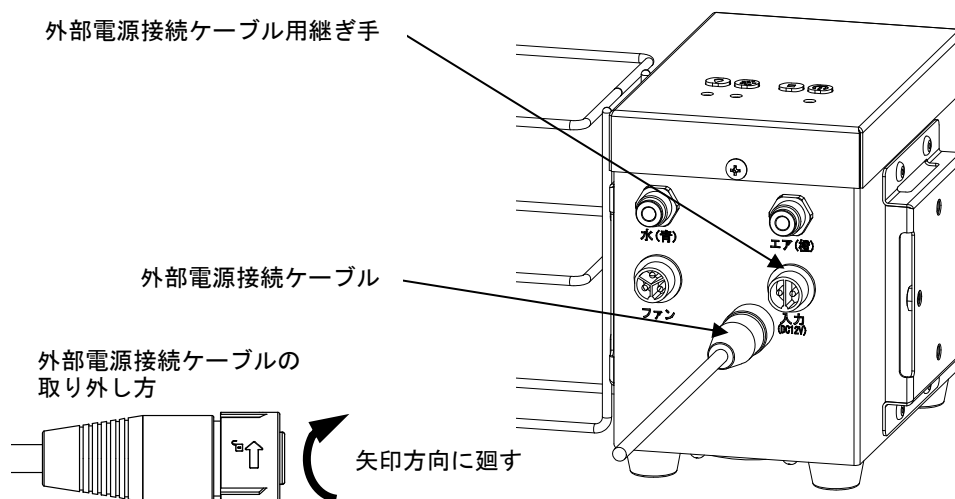
チューブを連結・分離する場合の注意

| | | |
|------------|--|--|
| <p>連結時</p> | <p>継ぎ手で連結したつもりが水漏れ・空気漏れする場合があります。</p> <p>このため約10mm程度を目標に手応えを感じるまで継ぎ手に押し込んでください。</p> <p>そして念のため強く引いてもチューブが容易に抜けないことを確かめてください。</p> | |
| <p>分離時</p> | <p>チューブを外すため無理に引いても抜けません。継ぎ手端部の白いツバを押すとロックが解除されチューブの引抜きができます（白いツバを押し込んだままチューブを引き抜いてください）。</p> | |

(7) 外部電源接続ケーブルの取付け

1) 本体側との連結

外部電源接続ケーブルを“入力 (DC12V)”と書かれている継ぎ手に連結してください。はめ合いを確認し、そのまま“クリッ”と音がするまで押し込んでください。外す場合は、青色のリングを左(矢印の方向)に廻し、ケーブルを抜いてください。



2) 車両のバッテリーに接続

本装置はDC12V仕様です。車両バッテリーの電圧がDC12Vであることを確認し、バッテリー形状に合わせ、ケーブルとの取り付けを行ってください。

警告

外部電源接続ケーブルの赤線側をプラス極に、青または黒線側をマイナス極に各々接続してください。接続を間違えると本機が起動できないだけでなく故障の原因になります。

⚠ 注意

1. エンジン式フォークリフトは、12V鉛バッテリーを使用しています。
バッテリー電圧が10.5V以下の場合にはエヴァポ・クーラーが起動しないことがあります。
エヴァポ・クーラーが起動しない場合はバッテリーを充電してください。
2. エヴァポ・クーラーは12V仕様ですので、12V以外のバッテリーから電源を取る場合はDC-DCコンバータを介して12Vに降圧して接続する必要があります。
3. バッテリー式車両に使用する場合は、必ずバッテリー電圧に合ったDC-DCコンバータをご購入し、外部電源接続ケーブルと一緒に正しくご使用ください。
バッテリー式車両の鉛バッテリーは、使用するにつれて劣化します。劣化したバッテリーは、電圧が低下し、バッテリー式車両を操作した際の更なる電圧低下により、エヴァポ・クーラーが停止する場合があります。エヴァポ・クーラーの安定した運転のため、入力電圧範囲の広いDC-DCコンバータ(20~72V)の使用を推奨します。
4. 配線接続は据付説明書に従って、専門の知識が有る方がおこなってください。

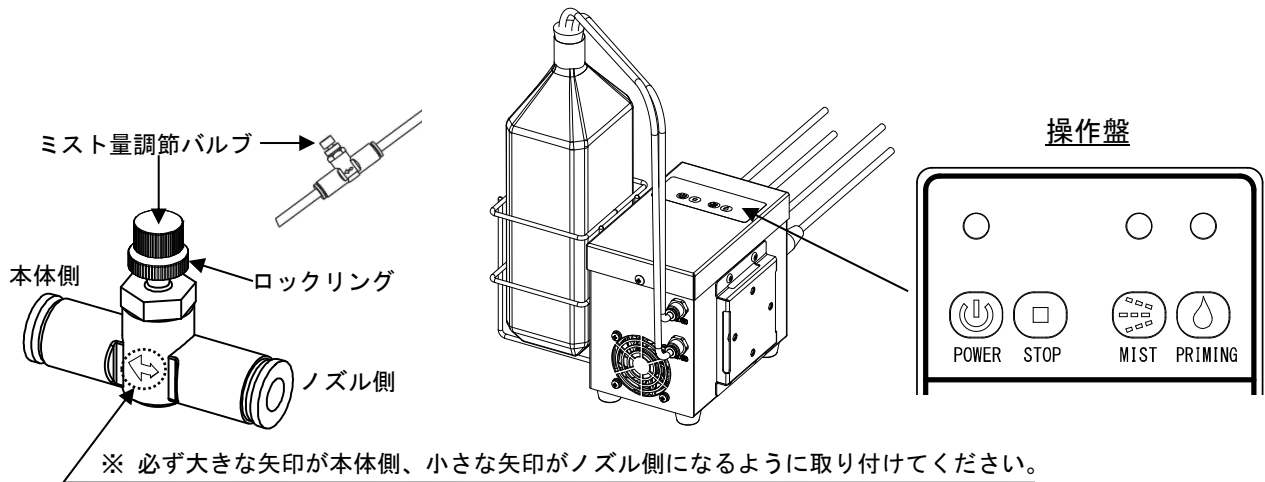
※詳細は据付説明書を参照してください。




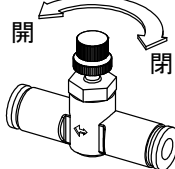

⚠ 注意

故障の原因になりますので、ゴミや塵埃が多い場所に設置しないでください。
使用しない時は、屋内で子供の手の届かない場所に保管してください。

5. 使い方

(1) 操作盤及びミスト量調節バルブについて、下記表の操作順に従ってください。



| 操作順 | LED の反応 | 機能及び利用目的他 |
|--|--------------|--|
| ① POWER (電源)  | 赤色 LED 点灯 | 1) 外部電力の受電を開始します。 2) 同時にファンによる送風が開始されます。 |
| ② PRIMING (送水)  | 青色 LED 点滅 | 1) 初めての運転又はシーズン始め等でチューブ内に水の充填を急ぐ場合に利用できます。 2) 反対にチューブ内に充滿している水を高速で放出する場合にも利用できます。 この場合、吸水チューブは外しておいてください。 3) 本機能を利用する間、ミスト量調節バルブを一時的に全開にすると時間短縮になります。 |
| ③ MIST (ミスト起動)  | 緑色 LED 点灯 | 1) 水とエアポンプが作動を開始し、ノズルからのミストの発生が開始されます。 |
| ④ ミスト調整  | | 1) ミスト量調節バルブを操作する時はロックリングを緩めミストを体感しながらバルブを左右に回転してドライからウェットの範囲でミストの質を調整してください。(必ず大きな矢印が本体側、小さな矢印がノズル側になっていることを確認してください。) |
| ⑤ STOP (停止)  | | 1) ミストの発生が瞬時に止まり、同時に送風中のファンも停止します。遅れて3秒後にエアポンプが停止し、全て電源 OFF となります。 |

(2) 本製品は、リモコンにより遠隔操作(ミスト調整除く)が出来ます。

リモコンには、予め乾電池が取付けてありますので、放電防止用絶縁紙を取り除いてからご使用ください。また、リモコンの“△ ▽”ボタン、及び本体操作盤の“POWERとSTOP”の操作(下記ラベル参照)でファンのスピード調整(強、中、弱の3段階)が出来ますので、作業環境に合わせ調整してください。



ファンスピードは 強・中・弱 の3段階です

ファンスピードは POWER  を押しながら STOP  を押すたびに変わります

⚠ 注意

1. 本体とリモコンは、出荷時にペアリングされてますので必ずセットでご使用ください。ペアリングされてない組み合わせではご使用できません。
2. リモコンを新しくご購入された場合は本体とのペアリングが必要です。詳しくはお買い上の販売店にご相談ください。
3. 現在リモコンに付属の電池は動作確認用のため電池持続時間が短い場合があります。リモコンが動作しない場合は予備の電池に交換してください。
4. リモコンの電池交換は、リモコン裏面の電池カバーを下側にスライドさせて取り外し電池の+、-の極性を合わせて取り付け交換します。

6. 保守・点検

本機は、取り込む水及びエアに異物等が混入しないようそれぞれに濾過機能を具備しております。通常利用される水道水には、藻の原因となる菌及びカルシウム等のミネラル成分が含まれることがあります。その水を長期にわたって運転及び停止を繰り返すうち、内部に滞留及び残留した水の中に藻類が発生し、またノズル吐出孔の周辺にミネラル質の析出により白い堆積が生じるようになり、これらが微細なノズル孔の目詰りの原因となりやすく、寿命を縮めることとなります。

本機を長くご利用頂くため、以下のような水質保全を始め保守・点検にご協力をお願いします。

保守・点検は、電源ケーブルを本体から取り外してから、行ってください。

(1) 水質の保全

- ・ 異物の混入を避けるため水道水または市販の水をご使用ください。
- ・ 市販飲料用の空いたペットボトルを水タンクとして利用する場合でも、1週間毎に他の新しいものと交換して藻類の発生を抑えるようお勧めします。
- ・ ペットボトルの水中に藻類及びノズルの先端に白いミネラルの析出といった目詰まりにつながる異常など、毎週初めに目視点検する等により早期の発見に努めて下さい。
- ・ ノズルの目詰まりは積極的に予防することが望ましく、例を次に挙げます。

右図は、台所用品の抗菌剤として知られ、飲用とは違うクエン酸です。この水溶液は、水中の藻類の成長及び繁殖を抑え、同時にカルシウムの析出及び堆積を抑える場合にも効果が期待されます。



本ミスト装置で利用する場合、クエン酸水溶液の濃度は（大さじ2杯/1リットル）程度以下でよく、水溶液を利用する頻度は、毎週はじめとする等の定期的に行う目視点検の時期に合わせ適宜調整してください。ミスト発生を試運転を5分間程度行ってください。この試運転では、ミスト量調節バルブを全開にすることが適当です。



(2) 水タンク内の点検

タンク内の水に藻類が見られた場合、直ちに水タンク及びタンク内に挿入した吸水用の水フィルターを洗浄してください。

クエン酸溶液でタンク内及び水フィルターを洗浄するか又はペットボトルの場合別に新しく空いたものと交換してください。

洗浄が終わるとクエン酸水溶液によるミスト発生を試運転を5分間程度行ってください。この試運転では、ミスト量調節バルブを全開にすることが適当です。

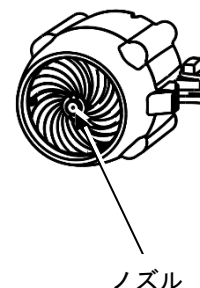
タンク内の水に藻類が見られない場合でも、週に1回程度、水フィルターを清水で洗浄してください

(3) ノズルの点検

- ・ミストの発生は正常であるが、ノズルの吐出孔廻りに白い堆積が見られた場合：

クエン酸水溶液を含浸させた綿棒を用いる等により、白い積物にクエン酸液の塗布を毎朝1回程度の頻度で繰り返し、堆積が減少するかを観察して下さい。

又はクエン酸液の濃度を適宜増して塗布を継続しても効果が見られない場合、お買い上げの販売店にご相談ください。



- ・ミストの発生がなく又は異常である場合：
次の処置を試みて下さい。それでも問題が解決しない場合、お買い上げの販売店にご相談ください。

① 細い針金等をノズル孔に差し込んで異物の除去を試みる。

② ノズル孔にエアブローを試みる。

この異常状態で、ノズルの吐出孔廻りに白い堆積も重なる場合、お買い上げの販売店にご相談ください。

(4) エアークリーナエレメントの清掃及び取替え

エアークリーナエレメントは環境の影響を最も受けやすく目立たない配置で劣化が進みやすいため、こまめに保守・点検を行ってください。

1) 実施のタイミング

清掃及び取替えは、下記期間を最短の目安とし、塵埃環境の程度に応じ適宜加減してください。

- ・ 清掃：利用時間 1ヶ月に1度
- ・ 取替：2年に一度取り替えることをお勧めします。

2) 清掃及び取替え

① エアークリーナエレメントの取り出し

エアークリーナエレメントは、本体の底面のカバーのネジを外して取り出します。

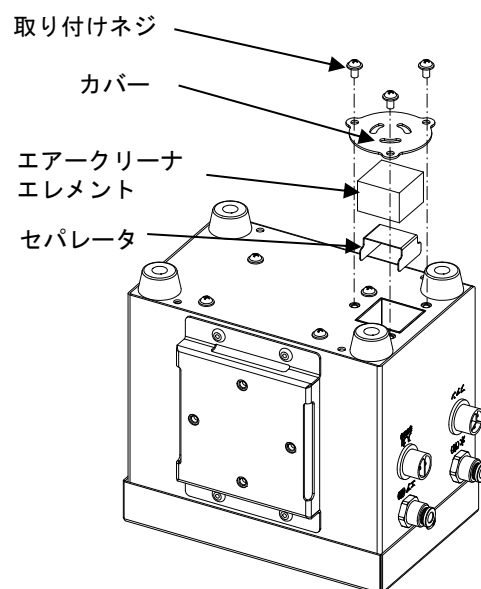
② エアークリーナエレメントの清掃および収容

(i) 取り出したエアークリーナエレメントをエアガン等で清掃してください。

(ii) 又は、ぬるま湯で洗い完全に乾かしてください。

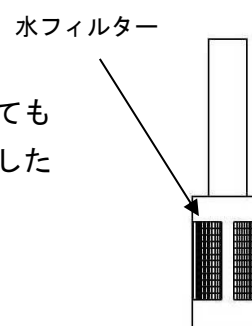
(iii) フィルターの清掃を終えたら元通りに収容し、カバーを取り付けます。

この時セパレータが外れた場合は取り付け向きは図の通りに行ってください。



(5) 水フィルターの清掃及び取替え

水フィルターは、万一繊維性の異物等がボトル内の水に混入しても吸水チューブ内に紛れ込まないように濾過することにより安定したミストを発生するという重要な働きをします。



1) 目視点検

網目に目詰まりがないか、水中に異物がないかを日常の運転前に目視確認に努めてください。

2) 清掃及び取替え

- ① 網目が繊維性のもの及び藻等で目詰まりしている場合、洗浄する等除去してください。
- ② 水フィルターの目詰まり除去が難しい場合、新しく取り換えしてください。

(6) その他アフターケア

保守サービス及び修理に関するご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

7. お手入れ・収納

シーズンオフ等で長期間ご利用の予定がない場合、下記要領でお手入れ及び保管ください。

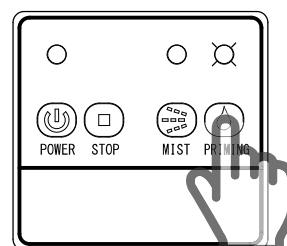
(1) 残留水を抜き取る。

- 1) エヴァポ・クーラーを停止後、ペットボトル内の水を全て廃棄して下さい。
- 2) POWER ボタンを押し、早めに本体内の水チューブと配管内の水が抜けるように、調整バルブの開度を通常使用している位置から更に左に2~3回転回し、その後、PRIMING ボタンをノズルから水が出なくなるまで押し続けて下さい。(約20秒かかります)

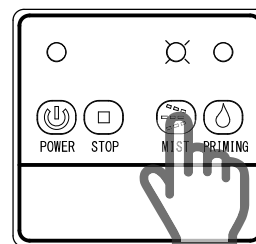


⚠ 注意

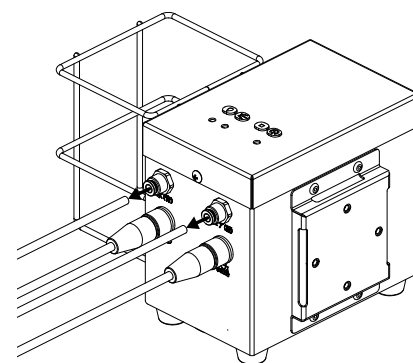
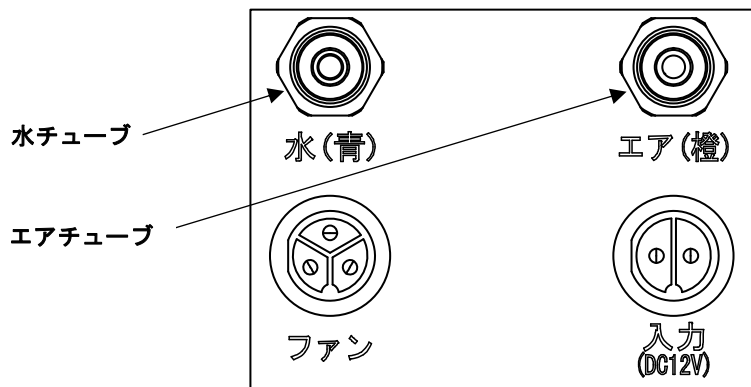
ノズルから勢いよく水が出ますので水濡れに注意してください。



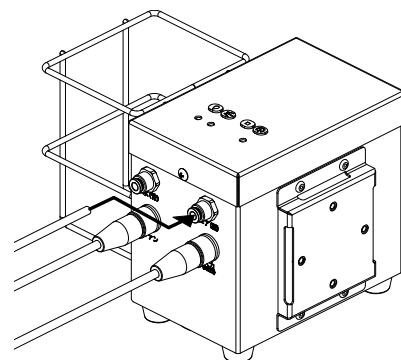
- 3) MIST ボタンを押し、約2分間カラ運転を行います。



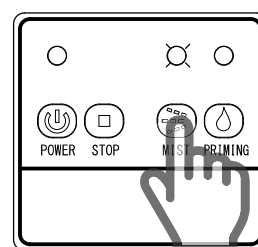
- 4) 次に本体側の継ぎ手に差込んである水チューブ(青)とエアチューブ(橙)を引き抜いてください。(抜き方は9頁の「チューブを連結・分離する場合の注意」を参照して下さい)



- 5) 水チューブ（青）をエアチューブの引き抜かれたエア（橙）継ぎ手に押し込んで下さい。エアチューブ（橙）は抜いたままで構いません。



- 6) POWER ボタンを押し、MIST ボタンを押して約 10 秒間カラ運転を行います。



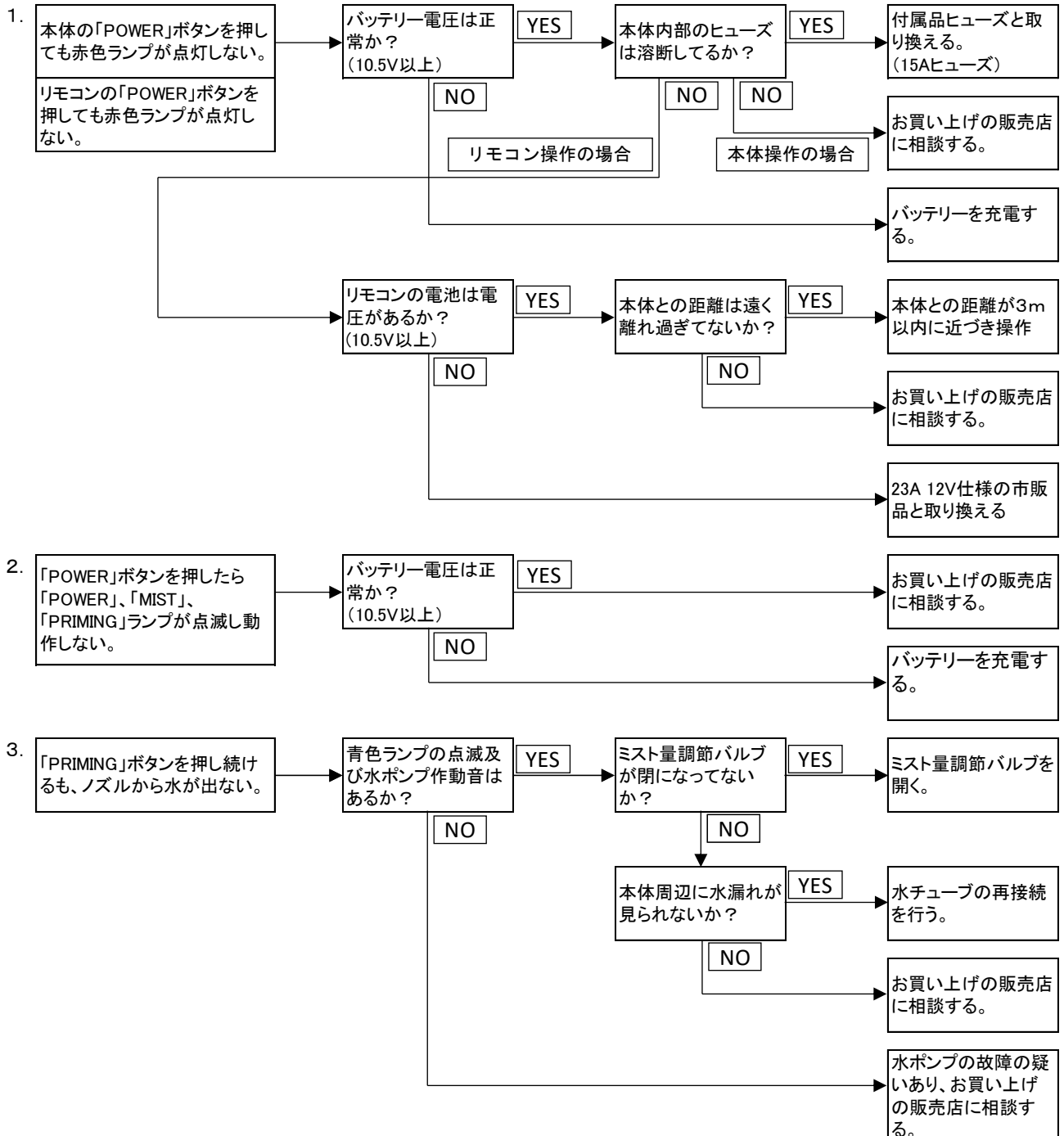
- 7) 水チューブ（青）とエアチューブ（橙）をそれぞれ正規の継ぎ手に差し戻して水抜きは完了です。

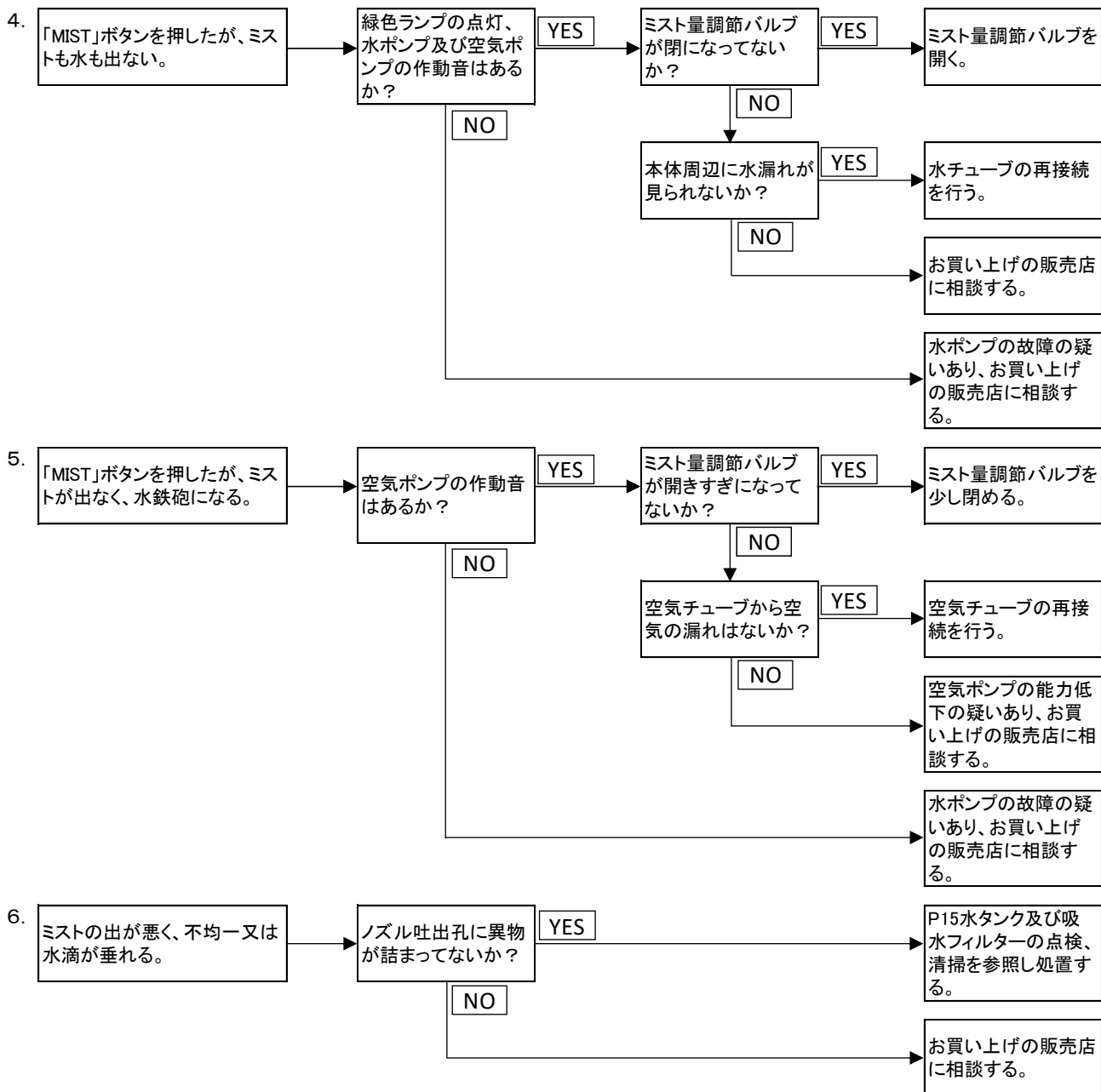
- (2) シーズンオフ等で長期間使用しない場合、本体の入力端子から電源ケーブルを外し、ビニール袋等で包み塵埃の堆積を避けてください。
- (3) 本体下部の冷却換気孔及び継ぎ手等に埃が侵入しないようカバー等で覆ってください。カバーによる覆いを行わない場合、こまめに汚れ落しを行い、汚れや塵埃の堆積を避けてください。
- (4) 汚れ落としには、揮発性の溶剤類、磨き粉、アルカリ性洗剤などの使用を避けてください。中性洗剤を含ませてよく絞った柔らかい布を使用し、洗剤が残らないよう十分拭き取った後、乾かしてください。
- (5) 乾電池放電防止のため、リモコンに取付けられています乾電池を外し保管ください。

8. 故障かな？と思ったら

ご使用中に異常が生じた場合、次の状況に応じてご対応ください。

症状





エヴァポ・クーラー 保証書

| | | | |
|---------|----------------------------|---|-----|
| モデル名 | EC-V-04S | | |
| お客様 | お名前 | | |
| | ご住所 | | |
| | TEL | | |
| 製造番号※ | | | |
| お買い上げ日※ | 西暦 | 年 | 月 日 |
| 保証期間 | 本体： 製品ご購入日より起算し半年間（付属品は除く） | | |
| 販売店※ | 店名、住所、電話番号、FAX番号 | | |

※欄に記入のない場合は無効となりますので、ご了承ください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体の注意ラベル等の注意書に従ったご使用状態で保証期間内に故障した場合には、本書記載内容にもとづき無料修理をさせていただきます。
不具合による休業保証・レンタル料・電話代等二次的損失の費用は負担いたしません。
- お買い上げの日から上記の期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店に商品と本書および販売店名を証するもの（レシート等）をご持参いただき、修理をご依頼ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障または損傷
 - お買い上げ後の落下、移動、輸送などによる故障または損傷
 - 保管の不備、お手入れの不備などによる故障または損傷
 - 火災、水害、地震、落雷等の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷
 - 本書のご提示がない場合
 - お客様名、お買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 付属品、消耗部品の場合（フィルタ類・ノズル類・チューブ類・ケーブル類）
 - 機能上に影響のない単なる感覚的現象（音・振動・外観上の軽微な傷等）
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

- ・ この保証書は本書に明示した条件、期間のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ・ 従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明な場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

商品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店にお問い合わせください

発売元 ETG Japan株式会社

技術・サービスセンター： 0475-36-2795

URL: <http://www.etg-japan.com>

ver. 21/02

